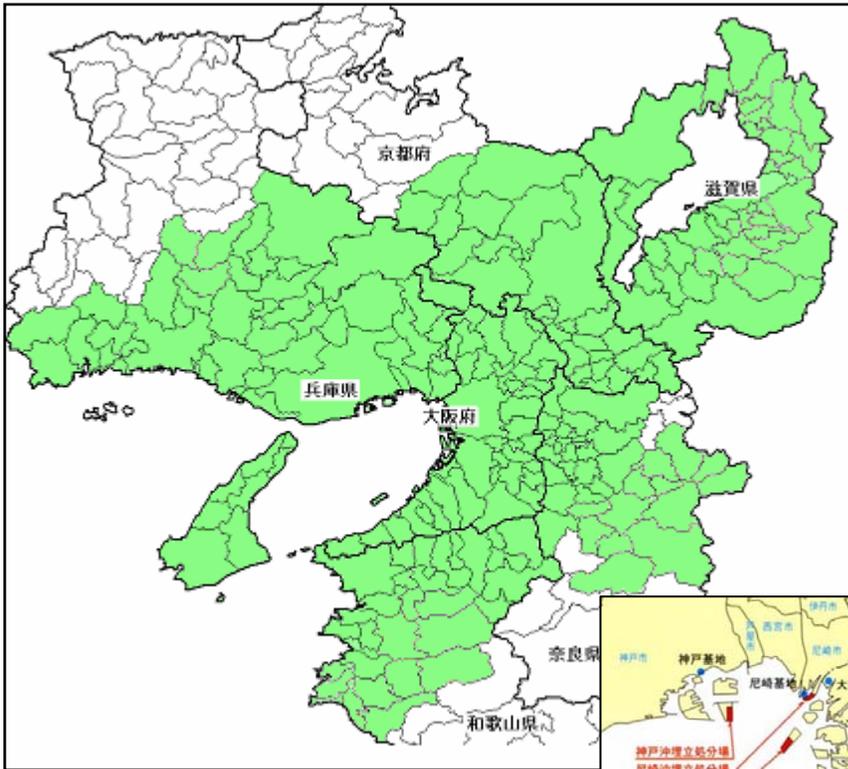


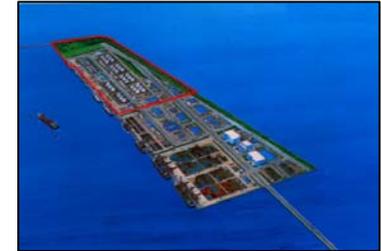
# 廃棄物の適正処理に対応した海面処分場の確保 ～都市環境問題への対応～

私たちの毎日の暮らしや、さまざまな産業活動から発生する膨大な量の廃棄物。廃棄物の量を抑えたり、再生に力を注いだりといった減量化はもちろん、正しく最終処分を行うにはどうすればよいのかを検討することは、21世紀における大きな課題だといえるでしょう。そこで長期にわたって安定して、しかも広域的に廃棄物を適正処理するために生まれたプロジェクトが「大阪湾フェニックス計画」です。

「大阪湾フェニックス計画」とは近畿2府4県、214市町村から発生する廃棄物を処分するために、大阪湾に4つの海面埋立処分場を整備するというプラン。第一期計画としては「尼崎沖処分場」「泉大津埋立処分場」の2つを、第二期計画として「神戸沖埋立処分場」「大阪沖埋立処分場」を建設します。



神戸沖埋立処分場



大阪沖埋立処分場(イメージ)



尼崎沖埋立処分場



泉大津沖埋立処分場

埋立処分場	所 在	埋立面積 (h a)	埋立容量 (単位: 万m <sup>3</sup> )				
			一般廃棄物	産業廃棄物 災害廃棄物	陸上残土	浚渫土砂	合 計
第一期	尼崎西宮芦屋港 尼崎市東海岸町地先	113	220	290	630	460	1,600
	堺泉北港 泉大津市汐見町地先	203	390	720	1270	720	3,100
第二期	神戸港 神戸市東灘区向洋町地先	88	800	400	300	0	1,500
	大阪港 大阪市此花区北港緑地地先	95	770	350	280	0	1,400
合 計		499	2,180	1,760	2,480	1,180	7,600